

第22回

在宅医療が目指す、
人生のありたい姿と終い方^{しま}を共に考える

在宅医療推進 フォーラム

参加
無料

夢と人生を織りなす

紡ぎつなぎ結ぶ

特別講演

悲観にも楽観にも傾かず.....
わたしの患者学、
わたしの介護学

演者: 落合 恵子さん
(作家・クレヨンハウス主宰)

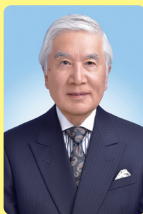
当日は、講演後、
書籍の販売・
サイン会を予定



基調講演

地域包括ケアの
セカンドステージ:
人生の終わりまで
支え続ける

演者: 田中 滋先生
(埼玉県立大学 理事長)



※写真は東京の街並みをイメージしたものです。
会場(東京ビッグサイト)からの眺望や会場周辺の風景ではありません。

日時

2026年

11/23

月
祝

9:30・17:00
(開場 9:00)

会場

東京ビッグサイト
国際会議場 会議棟 7階

〒135-0063
東京都江東区有明3丁目11番1号

参加は、
事前申込が
必要です。

フォーラムの
詳細・
お申し込みは
こちらから



今回は会場開催のみとし、当日の同時配信はありません。後日アーカイブ配信を予定。



公益財団法人 在宅医療助成
勇美記念財団



在宅医療助成 勇美記念財団は、2000年に
株式会社オートバックスセブンの創業者の一人である
住野勇(初代理事長)の寄付によって設立されました。

■ 開催趣旨

あなたは、自分の人生を考えたことがありますか。それも、人生を^{しま}終^{とき}う時間まで。

多くの人にとって、人生は長くなり、命をまっとうする形で人生を終える時代となりました。昨年(2025年)は団塊世代のすべての人が75歳を迎え、これから、85歳以上の人が増えていく時代となります。^{やまい}病や障がいを抱えながらも、自分の望む場所で、望む暮らしや生き方を続けたいとの思いは誰しもがもっているものだと思います。

しかし、これまでは多くの場合願っても叶わないことでした。それは、人は終末期医療を経て死ぬものと思込んでいたからでしょう。病院で死を迎える時代が長く続いたことで、自分の人生を幸せに生ききるというごくあたりまえの夢を描くことができなくなったのかも知れません。

在宅医療は、医療・介護・福祉・行政・地域の人々との連携で、本人にとっての3つのライフ(生命・生活・人生)を支えることを目指します。中でも大切なことは、生活支援と人生支援で、紡ぐ(これまでの人生の断片的な記憶をものがたりとして編み出す)、つなぐ(これからの人生で希望・願い・思いを引き出す)、結ぶ(その実現に向けて、手伝ってくれる人との関係性をつくる)ことだと考えています。

今回の在宅医療推進フォーラムでは、“新たな時代”を迎えるにあたって、皆様とともに、人生のありたい姿と人生の^{しま}終^{とき}い方について一緒に考えてみたいと思います。是非、多くの人の参加を期待します。



主催：国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター、公益財団法人 在宅医療助成勇美記念財団

共催：一般社団法人 日本在宅ケアアライアンス

全国在宅療養支援医療協会、全国在宅療養支援歯科診療所連絡会、全国訪問看護事業協会、全国ホームホスピス協会、全国薬剤師・在宅療養支援連絡会、日本介護支援専門員協会、日本ケアマネジメント学会、日本在宅医療連合学会、日本在宅栄養管理学会、日本在宅看護学会、日本在宅ケア学会、日本在宅療養支援病院連絡協議会、日本生活期リハビリテーション医学会、日本プライマリ・ケア連合学会、日本訪問リハビリテーション協会、日本老年医学会、全国国民健康保険診療施設協議会、全日本病院協会、日本訪問看護財団、日本ホスピス緩和ケア協会、日本ホスピス・在宅ケア研究会、日本在宅ホスピス協会、NPO地域共生を支える医療・介護・市民全国ネットワーク

後援：厚生労働省、公益社団法人 日本医師会、公益社団法人 日本歯科医師会、公益社団法人 日本薬剤師会、公益社団法人 日本看護協会、公益財団法人 長寿科学振興財団

※順不同、一部法人格省略

本フォーラムに参加され、
当日アンケートに
ご回答いただいた方には、
特典をご用意しております

特典
1

うまい棒
(お一人様2本)
を進呈

※数量に限りがあります。 ※写真はイメージです。

特典
2

有名コーヒーショップの
ギフトカード

2,000円分

当日
抽選で
50名様

在宅医療助成 勇美記念財団からのお知らせ

ホームページ

「無料冊子・DVDのご案内」

お申し込みは財団ホームページまたは
二次元コードから。お問い合わせは財団事務局まで。



ともに歩む がん在宅医療

在宅医療に関わる
専門職の役割や制
度、具体的な事例
を紹介。理解を深
められる一冊です。



- サイズ:
B5判/101ページ
- 作成年月:2022年8月

訪問看護活用ガイド

訪問看護の役割や
活用方法を、事例
を交えてわかりや
すく紹介する冊子
です。



現在最新版を制作中
11月頃発行予定

ゆうみ カレンダー (2027年版) のご案内



毎年好評をいただいております「ゆうみカレンダー」を
今年も配布いたします。在宅で療養生活を送る方が、
少しでも楽しく過ごせるよう
願いを込めて作成しました。

* お申し込みについて *

- お申し込み開始
2026年10月より
- お申し込み方法
財団ホームページにて
お申込みください。

お申し込みは
こちら



9:00	開場
9:30	開会によせて 住野 耕三(在宅医療助成勇美記念財団 理事長)・新田 國夫(日本在宅ケアアライアンス 理事長) 来賓挨拶 堀井 勇吾(オートバックスセブン 代表取締役社長)
9:45	ブロックフォーラム 開催状況・コンGRESの紹介 先進事例・好事例報告・総合討議 北海道(由仁町): 島田 啓志(国民健康保険由仁町立診療所 所長)・栃木: 鶴岡 優子(つるかめ診療所 所長)・ 京都・奈良: 守上 佳樹(よしき往診クリニック 医師)・九州・鹿児島: 久松 憲明(平和会クリニック 院長) 座 長: 島田 潔(全国在宅療養支援医協会 事務局長)・二階堂 孝子(在宅医療助成勇美記念財団 常務理事)
11:35	勇美(ゆうみ) 賞授賞式 講 評: 石垣 泰則(日本在宅医療連合学会 理事) 司 会: 二階堂 孝子(在宅医療助成勇美記念財団 常務理事)
12:00	お昼休み ●
13:00	基調講演「地域包括ケアのセカンドステージ: 人生の終わりまで支え続ける」 演 者: 田中 滋(埼玉県立大学 理事長) 座 長: 荒井 秀典(国立長寿医療研究センター 理事長)
13:20	特別講演「悲観にも楽観にも傾かず……わたしの患者学、わたしの介護学」 演 者: 落合 恵子(作家・クレヨンハウス主宰) 座 長: 迫田 朋子(ジャーナリスト/元NHKエグゼクティブディレクター) 当日は、講演後、書籍の販売・サイン会を予定
13:55	休憩
14:05	セッション「地域包括ケアを担う次世代の立場から」 演 者: 大塚 翼(千葉県立東葛飾高校2年)・佐々木 理博(日本大学医学部医学科6年)・ 前川 千紗(大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻博士前期課程2年) 座 長: 飯島 勝矢(東京大学高齢社会総合研究機構 機構長・未来ビジョン研究センター教授)
14:50	休憩
15:00	シンポジウム「夢と人生を織りなす」 シンポジスト: 河瀬 聡一朗(石巻市雄勝歯科診療所 所長)・市原 美穂(全国ホームホスピス協会 理事長)・ 平山 司樹(訪問看護ステーションかつさい 在宅看護専門看護師)・長田オリエ(訪問看護ステーションおしん 所長)・ 井階 友貴(福井大学医学部地域プライマリケア講座 教授)・松村 諭(北海道 由仁町長) 座 長: 武田 俊彦(日本在宅ケアアライアンス 副理事長)・平原 優美(日本在宅ケアアライアンス 副理事長)
16:50	閉会によせて 大島 伸一(国立長寿医療研究センター 名誉総長)
17:00	閉会

昼食にお弁当を
ご用意してます

※当日の参加状況によっては、
 数量に限りがある場合がございます。
 ※写真はイメージです。
 ※内容は異なる場合がございます。

深川めし

10:00	趣旨説明
10:05)	①医療的ケア児者のACP 演 者: 網塚 貴介(青森県立中央病院総合周産期母子医療センター 青森県小児在宅支援センター長)
12:00	②認知症の人のACP 演 者: 永田 久美子(認知症介護研究・研修東京センター センター長特命補佐)・ 山中 しのぶ(日本認知症本人ワーキンググループ 代表理事) 座 長: 蘆野 吉和(日本ホスピス・在宅ケア研究会 理事長)・太田秀樹(全国在宅療養支援医協会 事務総長)・ 高橋 昭彦(ひばりクリニック 院長)
	ディスカッション・質疑応答

■ 交通案内図

本フォーラムの会場である
東京ビッグサイト(有明)は、
東京の「今」と「伝統」が交差する
ウォーターフロントの拠点です。
周辺には、秋の東京を満喫できる
魅力的なスポットが数多く
点在しています。



会場周辺の施設



書籍のご案内

在宅医療 ～治し支える医療の概念と実践～

人口の高齢化による疾病構造の変化に伴い、これまでの「治す医療」から「治し支える医療」へ、医療の概念も変化している。
本書は、日本の医療で今後ますます重要となる在宅医療について、医学生及び在宅医を志す医師を対象に、その概念やあり方を体系的かつ詳細に解説する。

● サイズ:B5判/292ページ ● 定価4,180円(本体3,800円+税10%)

書籍の
ご購入は
こちらから



在宅医療

治し支える医療の概念と実践

著者 渡辺 大祐 監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

監修 辻野 大 監修 辻野 大

○掲載の写真はイメージです。

フォーラムの参加申込等について

お問い合わせ先

第22回 在宅医療推進フォーラム運営 事務局
TEL. 052-825-4140 (平日のみ 10:00~17:00)

FAX. 052-602-8864

メールアドレス: forum@yuumi.or.jp